

人と音を結ぶ
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>

プレイガイド
アイ・チワット
☎ 0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル®

◆発行／マネージメント・プロ ◆編集／プランニングオフィス白壁 ◆協賛／クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネジメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネジメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市東区葵2-11-2 アバンテージ葵ビル301
TEL : 052-508-5095 FAX : 052-508-5097
E-mail : mane-pro@mane-pro.com
HP : <http://www.mane-pro.com>

東海地区で、顕著な芸術創造活動を継続する45歳以下のアーティストを対象にした「第39回（2022年度）芸術創造賞」の受賞者が、常磐津の常磐津綱鵬（名古屋市・41歳）と、舞台美術の岡田保（春日井市・36歳）に決まった。

△常磐津綱鵬（つなほう、本名・林みどり）は、1996年に参加した「名古屋むすめ歌舞伎」で邦楽の魅力に開眼。2000

年に入り、06年には「綱鵬」の名を認可された。
以来、舞踊、演劇ほか様々なステージで演奏活動を展開。人形と常磐津ための劇場空間「MI



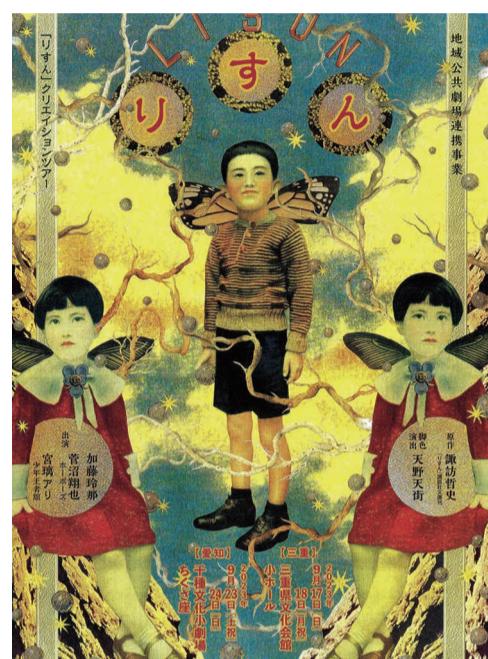
常磐津綱鵬さん

のコラボレーション（演出・木村繁）でも新境地を開拓している。
20年には西枇杷島町の古民家を改装し、和芸の道具制作にかかわって以



岡田 保さん

「芸術創造賞」に常磐津綱鵬さん、岡田保さん



演劇ファンを魅了した名作再び



諏訪 哲史

重病で入院している妹と兄弟同然に育った青年

名古屋出身の芥川賞は9月23、24日（3回）千種文化小劇場。作家・諏訪哲史の小説を、愛知を代表する演出家・天野天街が脚色、演出した舞台「りすん」が三重、愛知ほかで公演される。三重公演は9月17、18日（3回）県文化会館小ホール。愛知公演は9月23、24日（3回）千種文化小劇場。

「りすん」は2010年に国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」共催事業として、七ツ寺共同スタジオで初演。

の病室での公演。中国旅行の思い出や母親のこと、言葉遊びなどで紡がれる二人の世界は、同室の女性患者に録音され、小説に書かれていることが明らかになっていく。

小説の作�性に切り込みながら濃密な言葉の力が溢れ出す諏訪の傑作

説を、天野が作品の構造を捉え、際立てながら視覚的魅力や没入感を生み出した傑作。「演劇ぶつ

く」では巻頭特集が組まれるなど天

きな反響を呼び、演劇ファンの間で語り草となつた。

13年ぶりなつた。

者館の宮崎アリが挑む。

天野は「新しい何かを加えることはせず、元々

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

ディションを行い、53人の応募の中から、妹は加

藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

ディションを行い、53人の応募の中から、妹は加

藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

ディションを行い、53人の応募の中から、妹は加

藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

ディションを行い、53人の応募の中から、妹は加

藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

ディションを行い、53人の応募の中から、妹は加

「米国での経験生かし日本の若者に、本物の音楽文化を伝えたい」

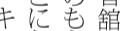
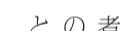
DRESS SHOP
Enclair
アンクレール

名古屋市名東区上社1-506-1F

☎ 052-5739-6155

OPEN 11:00-19:00 定休日月曜

※水曜のみ11:00-17:00



の協力を得て、ナビロフトが製作を担当。少年王者館、原作者の企画協力のもと令和の世に甦ることになった。

キャストは4月にオーディションを行い、53人の応募の中から、妹は加藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ

の菅沼翔也に決定。13年前、火田詮子が印象的に演じた女性には、少年王藤玲那、兄はホーボーズ</

西川流の舞踊家で、俳優としても活躍する西川鯉之亟・鯉娘が、9月30日（午前11時開演）市民会館で「ふたり華」を公演する。第1部は歌謡舞踊（全10曲）。鯉之亟の「鼓」で幕を開け、鯉娘の「椿姫」で締める。第2部は古典

西川流の舞踊家で、俳優としても活躍する西川鯉之亟・鯉娘が、9月30日（午前11時開演）市民会館で「ふたり華」を公演する。第1部は歌謡舞踊（全10曲）。鯉之亟の「鼓」で幕を開け、鯉娘の「椿姫」で締める。第2部は古典

西川流の舞踊家で、俳優としても活躍する西川鯉之亟・鯉娘が、9月30日（午前11時開演）市民会館で「ふたり華」を公演する。第1部は歌謡舞踊（全10曲）。鯉之亟の「鼓」で幕を開け、鯉娘の「椿姫」で締める。第2部は古典

西川流の舞踊家で、俳優としても活躍する西川鯉之亟・鯉娘が、9月30日（午前11時開演）市民会館で「ふたり華」を公演する。第1部は歌謡舞踊（全10曲）。鯉之亟の「鼓」で幕を開け、鯉娘の「椿姫」で締める。第2部は古典

西川流の舞踊家で、俳優としても活躍する西川鯉之亟・鯉娘が、9月30日（午前11時開演）市民会館で「ふたり華」を公演する。第1部は歌謡舞踊（全10曲）。鯉之亟の「鼓」で幕を開け、鯉娘の「椿姫」で締める。第2部は古典

9月30日 市民会館ビレッジホール 鯉之亟・鯉娘「ふたり華」旗揚げ30周年記念公演



人気の西川鯉之亟・鯉娘

9月30日 市民会館ビレッジホール



内田 有美家元



内田 寿子宗家

内田 流は創立70周年記念公演
10月14、15日 市民会館、ビレッジホール

うために、共の忠信（実はキツネの化身）と吉野山に旅立つ静御前の心情と、美しい吉野山の風情を重ねた人気狂言。忠信のコミカルな「キツネ振り」や、壯絶な戦の回想な

うために、共の忠信（実はキツネの化身）と吉野山に旅立つ静御前の心情と、美しい吉野山の風情を重ねた人気狂言。忠信のコミカルな「キツネ振り」や、壯絶な戦の回想な

うために、共の忠信（実はキツネの化身）と吉野山に旅立つ静御前の心情と、美しい吉野山の風情を重ねた人気狂言。忠信のコミカルな「キツネ振り」や、壯絶な戦の回想な

神原ゆかりが、9月30日（午後6時）、10月1日（午後4時）愛知県芸術劇場小ホールで「還暦記念公演」（名古屋市民芸術祭参加）を行う。

「還暦」をタイトルに挙げるダンサーは初めてだが、神原のスタイル、テクニックはトップダンサーとして申し分なく、息子の牧村直紀（谷桃子バレエ団ファーストソリスト）と共に演しても不自然

バレエに軸足を置き、様々なジャンルのパフォーマンスに挑戦する神原ゆかりが、9月30日（午後6時）、10月1日（午後4時）愛知県芸術劇場小ホールで「還暦記念公演」（名古屋市民芸術祭参考）を行う。

神原ゆかりが、9月30日（午後6時）、10月1日（午後4時）愛知県芸術劇場小ホールで「還暦記念公演」（名古屋市民芸術祭参考）を行う。

「カルミナ」「マルグリット」神原ゆかり還暦記念公演

9月30日、10月1日
県芸術劇場小ホールで

さは微塵もない。むろん努力と節制、強い精神力の賜物である。

神原は1971～90年にわたり佐々智恵子バレエ団で研さんを積み、様々な作品で主役を務めた。2010年に現代舞踊の鬼才・野々村明子と共に演して以来、ジャンルこだわることなく、多彩な舞踊活動を展開。今年6月に公演された舞踊劇「幻想平家物語」（脚本、演出・伊豫田静弘）でも中

心人物を踊り、邦樂舞踊家を圧倒した。

今公演のプログラムは①作品集（コンテンポラリーなど10作）、②「マルグリット／椿姫より」（演出・振付・望月則彦）、③「カルミナ・プラーナ」（演出・振付・佐多達枝）の全3部。谷桃子バレエ団、佐多達枝・河内昭和バレエスタジオほか、県内外から25人の客演を迎えて、かつてない布陣で名作に挑む。

神原は「①部では様々な若い才能を発見してほしい」と意気込む。

ステージにご期待ください」と意気込む。

全自由席3000円。

TEL 052（733）88

09、オフィスリラン。

舞台批評

柔軟性、テクニック、そして衣装

国内の舞踊コンクールで屈指の実績を誇る児童

舞踊・現代舞踊の名門「かやの木芸術舞踊学園（学園長・木原創）」が、第27回舞踊公演（7月23日・土岐市文化プラザ）を開催した。

原創&友里の振付。

毎回のこととはいえ、ダンサーのレベルの高さには驚かされる。柔軟性、リズム感、テクニック、すべてを兼ね備えたダンサーたちが、自分の狂いもなく一編のドラマを紡ぎ上げるのである。

振付、ダンスはもちろ

んだけ、保護者が手作り

受賞作品の中では、沖

同1位に輝いた傑作であ

る。

突然雷鳴がどろき

客席に照明が入ったが、

は中盤から終盤へ。

ハビエルのダンス。三様

のダンスが平和と繁栄を

願う儀式のように繰り広

げられ、やがてステージ

は再び静けさへ。

「響」では、正確でパ

ワフルな太鼓打ちに、た

だだ感心。意外だった

のは「ピアノ&ダンス」。

リズム感抜群のダンサーたちも、言葉（歌詞）に

乗せて踊るのは少々苦手

らしい。必要なのは恋愛経験??かも。

（茂）



「カルミナ・プラーナ」ラストシーン

宮部みゆき原作、佃典彦脚本
前進座「あかんべえ」
10月9、10日 市民会館

勅使川原三郎「ワルツ」

愛知県芸術劇場芸術監督の勅使川原三郎が、新作ダンス「ワルツ」を公演した（7月16、17日・芸術劇場大ホール）。

色彩を排除した照明が描くアンティークな序盤。踊るのは勅使川原三郎、佐東梨穂子、ハビエル。

名古屋市里祭
吹上文化サロン（エルム）が「名古屋市里祭」2023ミッショール・グラスコと共に（7月19日・千種文化小劇場）を開催した。

奥村理恵、観聴者による音ペイン賞受賞者が競演 「音環（おんかん）IX」 9月21日 電気文化会館

名古屋音楽ペインクラブ賞の受賞者によるコンサート「音環（おんかん）IX」が、9月21日（午後6時45分）電気文化会館で開かれる。19年以来、4年ぶりにピアノ奥村理恵が、ベートーヴェン「創作主題による32の変奏曲」、スクリヤーピン「ピアノソナタ第4番ほか」、金原聴子と観聴者がそれぞれソロで歌った後、デュオでチャイコフスキイ「6つの二重唱曲」から「夜明け」ほかを石川馨



歌劇「あしたの瞳」
歌劇「あしたの瞳」
「メニコンシアター」
「アオ」の柿落とし公演「歌劇あしたの瞳」もうひとつの未来～2023～
が7月19～22日、同劇場で上演された。

物語はこの作品の他にな
り、主人公・常一の若き日を大田翔がエネルギー的に、現代の姿を響き渡り、倉知可英、坪内里加子らダンサーが空間に彩りを添えた。新たな劇場で作品が瑞々しく新生する、幕開けに相応しい時間。2人の常一の名演後、客席を見渡す田中恭一氏の姿も、感動的だった。

（竹本）

プリズムステージ 10周年記念!!

音楽 De まつり!

どんな音楽が飛び出すか!!

Soprano 加藤恵利子 Tenor 安賀勲 Johannes Bass 森雅史

Violin 水野慎太郎 Violin 宗川諭理夫 Contrabass 青山小枝 Harp 田中敦子 Percussion 中村新

制作プロデュース: 楠部享子

チケット【全自由席】前売り 4,000円/当日 4,500円
大学生以下・前売り・当日ともに 2,500円

2023 1stステージ 9.29 FRI 18:30開演 [18:00開場]
2ndステージ 9.30 SAT 15:00開演 [14:30開場]

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※大学生以下は学生証のご提示をお願いします。

※前売りの時点でチケットが売り切ってしまう場合、当日券の販売はありませんのでご注意ください。

公演の詳細は メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール 名古屋市中区葵三丁目21番19号 メニコンANNEX 5F

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行を支援いただけるサポート会員を募集しています。会員には年間6,600円（税込み）。会員には小紙面にお名前を掲載（希望者のみ）。会員

の関係する公演、イベント情報をお優先的に掲載させていただきます。お申し込み、お問い合わせはTEL 052-509-5008。

和光写真/南テス・大阪/三光/Hide Dance Lab./南ビデオ教習社/松岡リバレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリーハーティスツ・カンパニー特定非営利活動法人日本室内樂アカデミー 理事長佐々木利子/ミュージカルアカデミーKAO/（一社）復曲能を観る会フィルハーモニカ・ウィーン・名古屋/明珠会 山村樂乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

舞台批評

人のシンガーが昼夜に分かれ歌とエレガンスを競うショーンソンの祭典。私の見た夜の部は、4年ぶりに来日した「アコーディオン界の貴公子」ミッショール・グラスコのほか、宮入公子、芹沢祥子ら9人の歌姫が出演した。

千種文化小劇場で「巴里祭」が行われるのは初。これまでの市民会館（中ホール）に比べステージ

に来日した「アコーディオン界の貴公子」ミッショール・グラスコのほか、宮入

公子、芹沢祥子ら9人の歌姫が出演した。

これまでの市民会館（中

ホール）に比べステージ

に来日した「アコーディ

ン界の貴公子」ミッショ

ール・グラスコのほか、宮入

The image is a collage of nine promotional posters for musical events in Nagoya, Japan. 1. Top Left: A woman in a dark, patterned dress, identified as Totani Masako, with the text 'Totani Masako' and '戸谷 誠子 ピアノ・サイタル Piano Recital 2023'. 2. Top Middle: A man in a suit playing a piano, with the text '松本和絃の音楽遺産 帰るべき場所' (Matsuoka Kazuhiko's Musical Heritage: The Place to Return). 3. Top Right: A woman in a dark dress, with the text '美しい日本語と香る高貴な歌を 日本歌曲名古屋波の会 定期演奏会' (Beautiful Japanese Songs and Fragrant High-Quality Songs - Japanese Songs Nagoya Wave Association Regular Performance). 4. Middle Left: A woman in a dark dress, identified as MAKIKO SUZUMURA RECITAL DE PIANO. 5. Middle Center: A close-up of a woman's eyes, with the text 'June End Songs (1982)'. 6. Middle Right: A woman in a blue dress singing at a grand piano, with the text '小杉裕子 ピアノ・サイタル' (Yuko Koide Piano Recital). 7. Bottom Left: A woman in a dark dress, with the text '横笛祭り・縦笛祭り' (Flute Festival). 8. Bottom Middle: A woman in a dark dress, with the text 'Puer eternum -永遠の少年-'. 9. Bottom Right: A woman in a dark dress, with the text '2023.10.27(金) 横笛祭り・縦笛祭り' (Flute Festival).



ラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索 
お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット【電子チケット】導入。(利用できない公演もあります)
カード決済、コンビニでのお支払いができます

ヴァイオリン野添弥麻
美(やおみ)、ソプラノ東
山紀美子、ピアノはやせ

ようこ。3人による「P.A.」アーチエ・サマーロンサート（7月22日・電気文化会館）で、音楽の楽しさを満喫した。

〃シャル・ウイ・ダン

ラシックからミュージカルまでの小品。玉はおなじみビザ「カルメン」の代表曲ダイジェスト。

リヤ」のほか、男装でホルンの「花の歌」まで歌う。野添も闘牛士に扮して演奏する徹底ぶり。はやせは伴奏に加え、ストーリーを解説したが、ほどよいユーモアで笑わせる。

大型チエリスト 柴田花音(チエロ)

A photograph of a man in a black suit and glasses playing a grand piano on the left, and a woman in a red sleeveless dress playing a cello on the right. They are performing on a stage with a dark background.

ピアノの鈴木慎宗（よしたか）は華やかな音で曲の特色を表現でき、「个性もいい。」

第10回を迎えた寺田弦楽四重奏団の定期演奏会（7月21日・電気文化会館）。対照的な2曲に、安定感ある演奏を披露した。セントラル愛知交響楽団のヴァイオリン寺田史郎。

とベートーヴェン「第8番・ラズモフスキイ第2番」という大作2曲のシンプルなプログラム。

明るく快活で楽しいメンデルスゾーン。一方ベートーヴェンはフレールが大きくなりやや省的だが精神的な深みがある中期の傑作。その違いを、4人はバランスよく巧みに弾き分けた。いつもながら堅実で品よくまとまつた演奏はよく好感が持てる。今後も楽しみな定期演奏会である。

寺田弦楽四重奏団

ターテインメントに
仕立てる手腕は見事。
2006年から続いたサ

マーシリーズは終了だ
が、次の企画を期待して
う。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット
販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、
便利なクラシック専門のプレイガイドです。